

自然・環境科学研究所（西はりま天文台） 訪問記録

1. 実施日時 2025 年 8 月 29 日
2. 住所 佐用郡佐用町西河内 407-2
3. 参加者数 10 名
4. スケジュール
13 時 20 分講義（西はりま天文台の紹介、天文学者への道）
14 時 30 分昼間の星と太陽の観察会
15 時 40 分なゆた展望鏡見学
16 時 20 分天文講義（天文観測で解き明かす宇宙の化学進化）



建物の外観

5. 活動報告

今回の自然・環境科学研究所（西はりま天文台）のラボ訪問は、2 年生の 6 人、1 年生 4 人が参加した。本田先生の大学院を経て現在の職に就くまでのお話とともに、天文学者への道についてお聞きした。ハワイのマウナケア山にあるすばる望遠鏡での施設開発や研究者同士の交流について、現地の写真を交えて紹介していただいた。太陽観察用望遠鏡や 60cm 望遠鏡、なゆた望遠鏡の 3 種類の観察をした。一般公開されていない制御室での操作の体験では、アナログな機器を駆使して手作りされている様子を見て、研究者の試行錯誤する環境を見ることができた。

6. 生徒の感想

すばる望遠鏡と国際共同研究や TMT の共同開発の話では、国際情勢の変遷が国際共同研究・開発に大きな影響を及ぼすことを学び、国際情勢について理解する必要があると思いました。また、望遠鏡の進歩についても学べました。

古い星の成分分析（組成）で宇宙年齢を求める研究の説明では、自分の研究結果が既存のものと違っていても、失敗したと片づけるのではなく、結果をどう捉えるかが大切であると学びました。実際に、講師の先生の研究結果は新しいタイプの星を発見したと評価され、今でも先生の名前でよばれているそうです。

銀河考古学と元素の研究の説明では、元素がどのようにして誕生したかの仕組みや過程などについて教えていただきました。宇宙を構成する元素の謎はとても不思議で興味深かったです。

まだまだ大部分が謎に包まれている宇宙の解明について学べる貴重な時間でした。

7. 活動風景



全体説明の様子



望遠鏡操作



60cm 望遠鏡の体験



なゆた望遠鏡の制御室での操作

